



2011年12月1日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 078-306-0590)

Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定キットの発売のお知らせ

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市）は、このたび研究用試薬「Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定用 ELISA キット」を、2011年12月12日から発売いたしますので、お知らせいたします。

「Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定用 ELISA キット」は、国立がん研究センター研究所創薬臨床研究分野 尾野雅哉ユニット長、山田哲司上席副所長らが発見した膵臓がんの診断に有望な新規腫瘍マーカーに対する抗体を当社独自技術である GANP®マウス技術を用いて作製し、2011年4月25日締結の当社と株式会社免疫生物研究所（代表取締役社長：清藤勉、群馬県藤岡市）との本マーカーの共同研究契約に基づき、当該抗体の将来的な診断応用に向けたキット化ならびに有用性検証を進めてきた成果で、研究用試薬として発売します。

当社は、腫瘍マーカーを中心とした診断薬シーズとなる抗体開発を進めておりますが、当該キット発売により、研究者の皆様にご活用していただき研究進捗の加速化を図るものです。

本測定キット発売の平成24年3月期の連結業績への影響は軽微であり、業績予想に変更はありません。

◆ご参考 : GANP®マウス技術

GANP (Germinal Center Associated Nuclear Protein)とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現しています。

GANP®マウス技術とは、この GANP 遺伝子を過剰に発現させた GANP®マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP®マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

: 膵臓がん

膵臓がんは、がんの臓器別死因順位が第5位ですが、進行期になるまで無症状であること、また、膵臓そのものが体の奥にあることから発見が困難ながんであり、最も悪性度の高い疾患の一つです。現在の診断方法としては、血中の CA19-9、CEA、CA50 等の腫瘍マーカーの測定や CT 等の画像診断が実施されています。

以上

News Release

Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定キットの発売について

株式会社トランスジェニックは、Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen 測定用ELISAキットを研究用試薬として、2011年12月12日に発売いたします。

このたび発売する抗体製品の詳細は以下の通りです。

製品名	規格	価格(税込)	製品コード
Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen ELISA Kit	96well	105,000円	KG612

- ◆発売開始日：2011年12月12日
- ◆販売方法：契約代理店*を通じ販売します。
※コスモ・バイオ(株)、フナコシ(株)、
和光純薬工業(株)、セティ(株)、
(株)免疫生物研究所
- ◆詳細情報：製品詳細につきましては、製品データシートをご参照ください。



- ◆ご参考：Prolyl 4-Hydroxylated Human α -Fibrinogen (P4HA1、プロリン水酸化修飾 α -フィブリノーゲン)
フィブリノーゲンは、血漿の主成分の一つであり、A α 、B β 、 γ の3本のポリペプチド鎖がS-S結合で繋がれた二量体で構成されています。一方、水酸化プロリンの存在は、コラーゲン蛋白において顕著であり、蛋白のフォールディングや分泌、さらにはその安定化に機能しています。
近年、 α -フィブリノーゲンは、その530番目および565番目のプロリンがプロリン水酸化酵素P4HA1によって修飾を受けることが明らかとなりました。さらに、膵臓がん患者の血漿中では、P4HA1によって修飾を受けた α -フィブリノーゲン(HP-FGA)の血中濃度が、健常人と比較して有意に上昇している点が見られています。

以上

本件に関するお問い合わせ先：
株式会社トランスジェニック IR担当 TEL 078-306-0590